

音のサロン委員会「試聴体験 WG」活動報告

ラックスマン株式会社

小嶋 康

■ 「音のサロン試聴会」について

日本オーディオ協会では、国内の専門メーカーを中心とした 11 社による「音のサロン委員会」を構成し、「良質の再生音楽を良質の再生環境で楽しむライフスタイルの普及」をテーマとして各種の活動をしています。

当初は、毎年秋に開催されているオーディオ・ホームシアター展での「音のサロン」試聴会の運営を主な活動の場としておりましたが、幸いなことに試聴ブースは常に人気を博し、年配のオーディオファンの方々を中心に「本格的なオーディオシステムでの試聴を再体験していただく」という趣旨について、一定の成功を収めることが出来ました。

その後、新たなオーディオファンとなり得る多くの予備軍の方々に、より手軽に試聴体験をしていただく場を検討していたところ、千代田区立日比谷図書文化館にて定期的実施されている「千代田区民講座」からのオファーをいただくこととなり、千代田区と日本レコード協会、日本オーディオ協会の 3 団体共催というスタイルで、開催に至りました。

このイベントでは、あらためて「再生音楽をよりよい環境で楽しんでいただくライフスタイルの普及」というテーマを掲げ、年 4 回の実施を目標に、日本レコード協会と日本オーディオ協会とが交互にテーマを持ち寄って運営していくこととしました。

会場は日比谷図書文化館 4F の小ホールを使用し、事前申込みによる先着 60 名という定員で募集をいたしました。毎回満員となる約 60 名のお客様が来場され、テーマのバリエーションの豊富さもさることながら、本格的なオーディオシステムによる高音質な音楽鑑賞のスタイルが、多くのお客様の強い関心と呼ぶことができたのではと感じています。

本稿では、2012 年 9 月の第 1 回から 2013 年 5 月の第 4 回までの各試聴会のレポートと所感を報告いたします。

■ 第 1 回「ビートルズを聴く♪」

記念すべき第 1 回は 2012 年 9 月 27 日(木)、デビュー 50 周年で話題を呼んでいた世界的なグループ「ビートルズ」をテーマに、日本における初代ディレクターである高嶋弘之氏を講師に迎え、60 年代当時のエピソードや解説とともに、音のサロン委員会の参加各社による最新のオーディオ機器で本格的な音楽再生をたっぷりとお楽しみいただきました。



来場されたお客様からは、ビートルズの素晴らしさが高音質によってあらためて認識できたと大好評で、第1回目の開催ながら、次回以降の企画に期待する声が数多く上がっていました。

■ 第2回「音楽の歴史～ソフトとハードの変遷～」

第2回は2012年11月28日(水)、デジタル・メディア評論家の麻倉怜士氏を講師に迎え、「音楽の歴史～ソフトとハードの変遷～」をテーマに、エジソンの蝋管から始まる音楽の記録再生の歴史を解説を交えながら試聴を楽しんでいただきました。



2時間という短い時間の中で、オーディオの創世時代から記録再生メディアの変遷を経て、最新のハイレゾファイル再生までを一気に駆け抜けたジェットコースターのような試聴会になりました。予定時間を少々超過してのイベントとなりましたが、ほぼすべてのお客様が途中で席を立たれることなく、最後まで真剣な様子で解説と試聴を楽しんでいらっしゃいました。歴史的な機器を時代にそって網羅的に紹介する機会はほとんどないことを考えると、とても貴重な試聴会でもあったと思います。

■ 第3回「エルヴィス・プレスリーを聴く」

第3回は2013年3月12日(火)、音楽評論家の評論家の萩原健太氏を講師に迎え、「エルヴィス・プレスリーを聴く」をテーマに実施されました。



誰もが知るヒット曲だけでなく、プレスリーの成長や挫折、復活といった複数の時代それぞれの名曲の数々を軽妙な解説とともに紹介していただき、古くからのプレスリーファンと思われるお客様からも拍手喝采が起きるほどの充実した試聴会となりました。

■ 第4回「レコード・CDで楽しむJAZZの魅力」

第4回は2013年5月22日(火)、国際的に活躍する音楽プロデューサー伊藤八十八氏を講師に迎え、「レコード・CDで楽しむJAZZの魅力」をテーマに実施されました。



試聴機材にはアナログプレーヤーとCDプレーヤーの両方を用意し、伊藤氏が制作に携われた数々の名盤を解説とともに試聴していただきました。プロデューサーしか知りえない参加アーティストのさまざまなエピソードが紹介され、ジャズ音楽に初めて触れたのではと思われるお客様にとっても、親しみやすさとスピーカーで聴く音楽の迫力を、実感を持って体験していただけたのではないかと思います。

■ 今後について

音のサロン委員会では、日頃オーディオ機器による高音質再生に触れる機会の少ない方々に、可能な限り手軽に参加していただけるイベントをご用意することで、音楽や音にこだわる楽しさを知っていただこうと活動しています。参加各社については、会社の規模や広報活動のコンセプトなどにより、必ずしも日本オーディオ協会のメインイベントである「オーディオ&ホームシアター展」にレギュラー参加できているわけではありません。しかしながら、本「音のサロン」試聴会に関しては、専門メーカーであることも手伝って、機器の調達やイベントでの搬入・セッティング等は、常にスムーズに実施されています。

実情としては、ほとんどの委員が会社での主業務との兼任であり、フルパワーで啓蒙活動だけに携われるような状況ではありませんが、実際に多くのイベントを通して、参加されたお客様が音楽をじっくりと聴く喜びに目覚められたようなご感想を見るにつけ、この活動の方向性と意義について、あらためて大きな必要性を感じています。

今後は、本年10月18日(金)から開催される「オーディオ・ホームシアター展」での専用試聴ルームを使った「音のサロン」の運営に向けて、より魅力的なテーマをご提供するべく、各委員協力のもとすすめてまいります。

また、今回ご紹介した日比谷図書文化館での「音のサロン」についても、千代田区側からの強いご要望を受けて、年4回を完全なレギュラー講座としていく方向で検討していく予定です。ぜひ多くの方のご理解とご協力をいただきながら、委員会テーマに沿って、さらに精力的に活動してまいります。今後とも、オーディオ専門メーカー各社による「音のサロン委員会」の活動にご注目ください。

筆者略歴：

小嶋 康（こじま やすし）

ラックスマン株式会社 広報部／商品企画室

1999年エンジニアとして入社し、C-7f、C-8fなどプリアンプの設計に携わる。2003年から広報と商品企画を担当。トラディショナルなオーディオの価値観を大切にしつつ、USB D/Aコンバーターやヘッドフォンアンプなど、新規層をターゲットにした新しいスタイルの製品ジャンル企画にも力を注ぐ。